

令和7年度 山分町敬老祝賀会を開催（9月13日）



山分町では、「多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う」ことを趣旨とした敬老の日（今年は9月15日）に合わせて、山分町敬老（祝賀）会を、山分町第一集会所にて開催しました。

今年の敬老会には43人の先輩諸氏が参加され、お元気な姿と笑顔を拝見することができました。

少子高齢化が進む中、四日市市の名簿によれば、70歳以上の方は、八郷地区全体で2,908人、その内、山分町には188人のお名前があります。なお、山分町福寿会の会員は53人のことです。

山分町敬老会は、山分町の社協委員の村上さんの司会により進行しました。

開会あいさつでは、小田自治会長（左の写真）から八郷地区、山分町の高齢者の人数や、



勤務していた四日市大学で雑木林の管理をお願いしていたNPO法人「PPK四日市」（植松理事長）の名前の由来であるPPK=ピンピンコロリが自分にとっても段々と身近なものになってきていること、参加者の皆さんますますのご健康と引き続きの協力をお願いしたいとのあいさつがありました。

また会長あいさつの後、準備にあたった組長等の役員一人ひとりからもお祝いの言葉がありました。

続いて催しものとして、恒例の小学生による（今年は9名が参加してくれました）による児童合唱とメッセージ（右の写真）がありました。「紅葉」と「夕



「焼け小焼け」の合唱に合わせて、会場からも自然と歌声がひろがりました。

食事会を挟んで、昨年も大好評だった小崎万里子さんによる歌や体を動かしてのパフォーマンス（下写真）が披露されました。ところどころで、顔見知りの参加者への突っ込みもあり、会場は笑いと拍手に包まれました。小崎さんからは、参加者へのプレゼントも頂きました。ありがとうございました。



その後、村上元会長による飛び込みの歌唱があり、最後はbingoゲーム（下の写真は賞品を受け取る様子）が行われました。なかなかbingoにならない人もいるなど、bingoゲームならではの「やきもきする時間」がありました。

最後に、村上福寿会会长から、お礼の言葉と福寿会への加入のお願いがあり、敬老会は幕を閉じました。

今年は、参加者がやや少なかったですが、敬老会は、世代を超えた交流の場として、地域の絆を深める貴重な機会です。来年もまた、皆さまの元気なお姿にお会いできることを楽しみにしています。

